

平成28年7月19日 東浦地区座布団会 開催報告

1 開催情報

日 時 : 平成28年7月19日 (火)
18時30分～19時40分
会 場 : 東浦公民館
主な対象 : 鞠山、田結、赤崎、江良、五幡、
挙野、阿曾
参加者 : 27名



2 参加者からのご意見

ご意見	内容
アクアトムの集客のための施策について	アクアトムの活用計画の掲げるコンセプトの実現は交流人口増加に効果があると思う。アクアトムのオープンに合わせて、こういったキャンペーンや広告などの施策を考えているのか教えてほしい。
赤レンガ倉庫への誘導看板設置について	国道8号や高速道路を降りてから赤レンガ倉庫までの案内がわかりにくく、車できた方のルートがしっかりしていないと感じる。
小学校区について	現在は栗野地区の小学校は生徒数が多くパンクしている状態だと思う。人口減少にも地区によって差があるので、校区について再検討が必要だと思う。
中学校登校のためのスクールバスまたはコミュニティバスの整備について	角鹿中学校に通っているがスクールバスがなく保護者が送迎している。誰かの助けがないと学校にいけないのは、問題だと思う。コミュニティバスのダイヤ変更なども含めて検討してほしい。
コミュニティバスの整備について	子どもや高齢者など交通弱者にとって東浦地区は不便だと感じており、このことは過疎化の原因のひとつでもある。交通の利便性について、長期的な視点で対応してほしい。
国道8号バイパスの整備について	国道8号バイパス整備の実現時期について、市長の意気込みも含めて教えてほしい。
防犯灯の地元負担について	防犯灯の地元負担額について、現在はわずかな額だが、何年後かに再検討されると聞いた。ほかの財政支出の削減などにより、負担額の増とならないようにしてほしい。
中学校の部活動について	小規模な中学校だと、選択できる部活動の競技が限られるので、選択肢を増やせないか検討してほしい。
救急分署の整備について	東浦は市街地から遠く、救急車が来るのに時間がかかる。また、国道8号では交通事故も多いため、東浦に救急車の分駐所を設けることはできないか。

3 今回の座布団会を終えて市長から一言

東浦地区での1回目の開催となった座布団会ですが、国道8号バイパスの整備や高齢者や子どもたちなど交通弱者の足となるコミュニティバス、スクールバスのこれからについて、貴重なご提案をいただきました。その他にも、参加いただいた方からは、上記のような様々なご意見をいただき、有意義な意見交換をすることができたと感じております。いただいたご意見につきましては、今後庁内で協議等行う際の参考とさせていただきます。座布団会に参加いただきましてありがとうございました。